



平成29年7月九州北部豪雨災害からの早期復旧に向けた活動状況

～ 全国のTEC-FORCEが九州に結集し、現場力を活かして全力で支援します ～

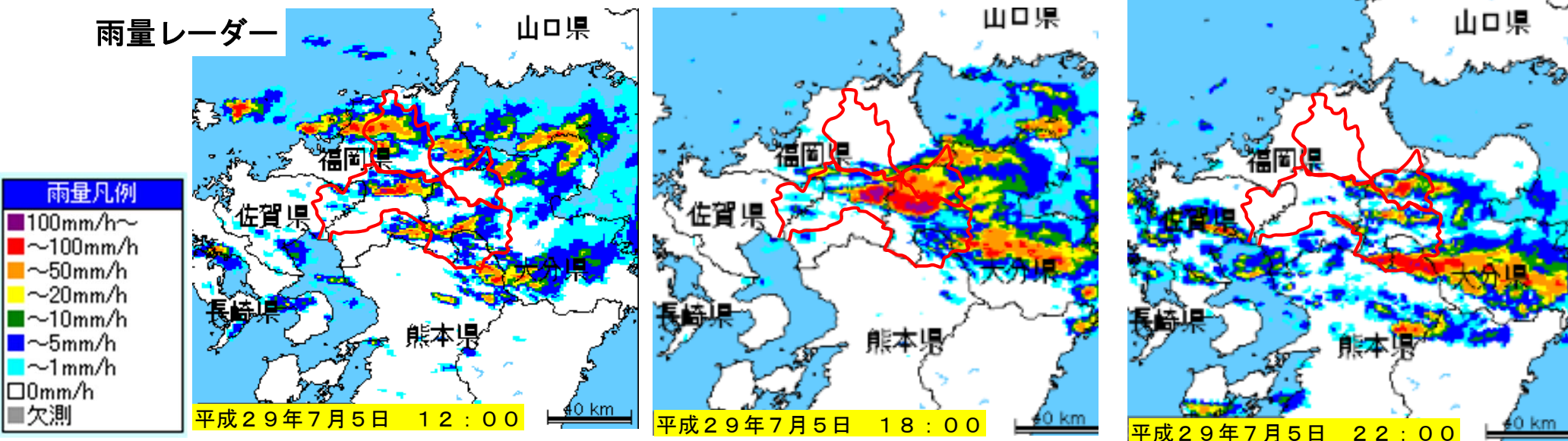


1. 平成29年7月九州北部豪雨 災害概要

平成29年7月出水の概要（雨量）

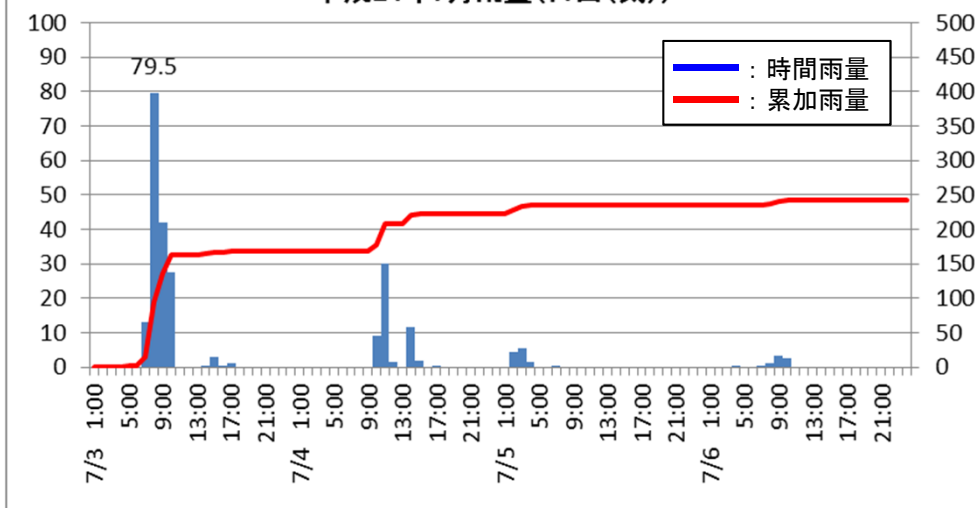
○ 7月5日(水)の昼頃から夜にかけて、福岡県から大分県にかけて観測史上最も多い記録的な雨量を観測。日田雨量観測所では、日降水量336mmを記録し、平成24年九州北部豪雨（7/3）の時と比べると、累加雨量は約2倍であった。

雨量レーダー



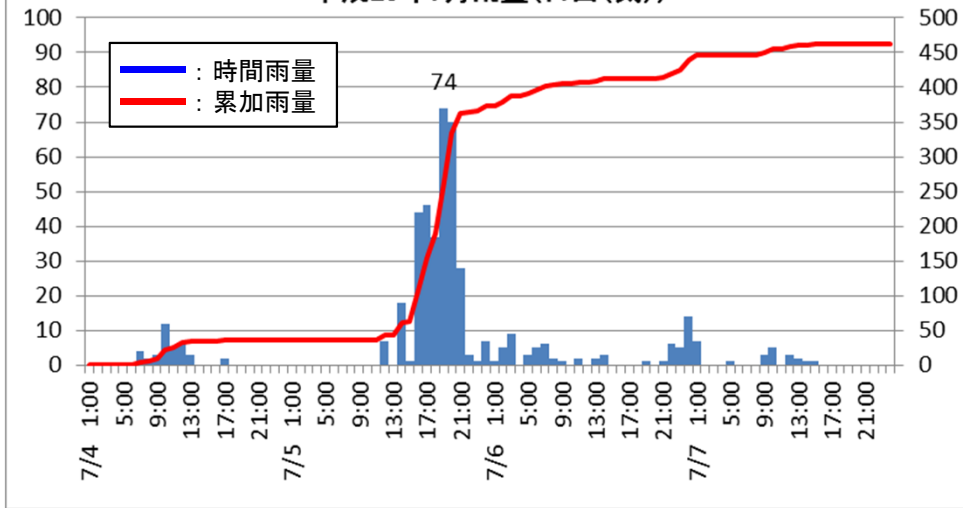
平成24年北部豪雨

平成24年7月雨量(日田(気))



今回の豪雨

平成29年7月雨量(日田(気))



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成29年7月出水の概要（河川水位）

- 梅雨前線の活発な活動により、九州北部の3水系（遠賀川、筑後川、山国川）において
氾濫危険水位を超える洪水が発生し、3観測所において観測史上最高水位を更新。

水位	水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)		観測史上最高水位	H29.7洪水
氾濫危険水位超過	遠賀川	彦山川	添田(そえだ)	5.68	7月5日 17:40	3.59(H17.9.6)※H24は欠測	溢水発生
	筑後川	花月川	花月(かげつ)	4.50	7月5日 19:50	4.37(H24.7.14)	溢水発生
	筑後川	筑後川	荒瀬(あらせ)	7.23	7月5日 21:10	7.35(H24.7.14)	
	筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	10.36	7月5日 22:20	10.07(H24.7.14)	
	筑後川	筑後川	杖立(つえたて)	6.74	7月5日 24:00	9.36(H2.7.2)	
	山国川	山国川	柿坂(かきさか)	6.89	7月5日 20:50	8.41(H24.7.14)	溢水発生



※ 3 河川 (赤字箇所) で観測史上最高水位を超過

本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 初動対応

- 7月5日（水）福岡県・大分県において記録的な大雨が発生。（整備局管内初の「大雨特別警報」）
- 九州地方整備局 災害対策本部は、7月5日16:50に非常体制を発令しました。

平成29年7月5日九州北部豪雨に関する 内閣総理大臣指示（7/5 18:56）

1. 早急に被害状況を把握すること。
2. 地方自治体とも緊密に連携し、人命を第一に、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むとともに、住民の避難支援等の被害の拡大防止の措置を徹底すること。
3. 国民に対し、避難や大雨・河川・浸水の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと。

今後の対応について国土交通大臣指示（7/5 18:00）

1. 気象状況及び河川の嚴重な監視と、水防活動に万全を期すること。
2. 大雨・河川の水位・氾濫等の状況に関する情報について、住民や関係地方公共団体等に対して、適時的確に提供すること。
3. 関係地方公共団体と緊密に連携し、浸水が想定される区域内の住民等の避難が確実に行われるよう、避難支援等の対策に万全を期すること。
4. 被災後の災害応急対策を迅速に行うための体制を整えること。
5. 関係地方公共団体からの要請を待つことなく積極的に対応するとともに、要請に対しては、迅速かつ全面的に支援すること。



▲ 本省とテレビ会議を開き情報を共有（7/5 22:30）

- 7月5日（水）九州北部における記録的な大雨により、福岡県・大分県で甚大な被害が発生。
- 九州地方整備局は、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、朝倉市や東峰村、日田市などにTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣。



- H29.7.7（金）全国から九州に集結したTEC-FORCEが、被災状況の迅速な把握や早期復旧に関する技術的な支援を行うため被災地に向け出発。



3. 緊急調査

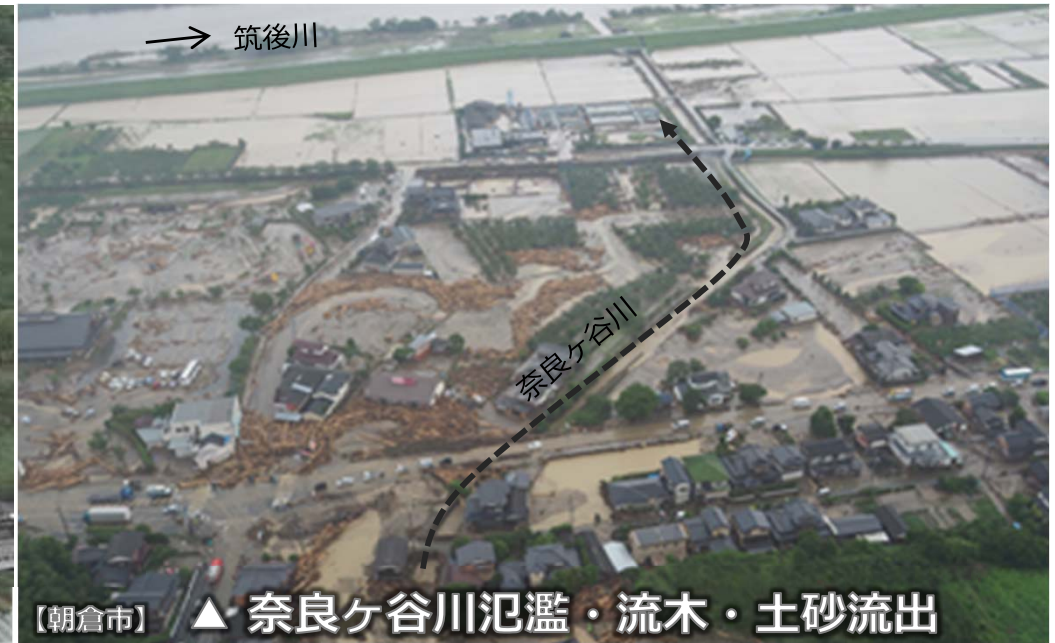
九州地整が保有する防災ヘリ「はるかぜ」から上空調査①

- H29.7.6（木）～ 九州地整の防災ヘリ「はるかぜ」で、朝倉市や東峰村などの立入困難な被災現場を定期的に上空から調査し、被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。



九州地整が保有する防災ヘリ「はるかぜ」から上空調査②

- H29.7.6（木）～7（金）災害対策用ヘリコプター2機により朝倉市・日田市の上空から調査を実施。河道閉塞・堤防決壊・落橋箇所や孤立地区への進入路を確認。



○ H29.7.7（金）大分県日田市小野地区で発生した斜面の崩壊を調査するため、九州地方整備局 TEC-FORCEのドローン飛行部隊を現地に派遣。



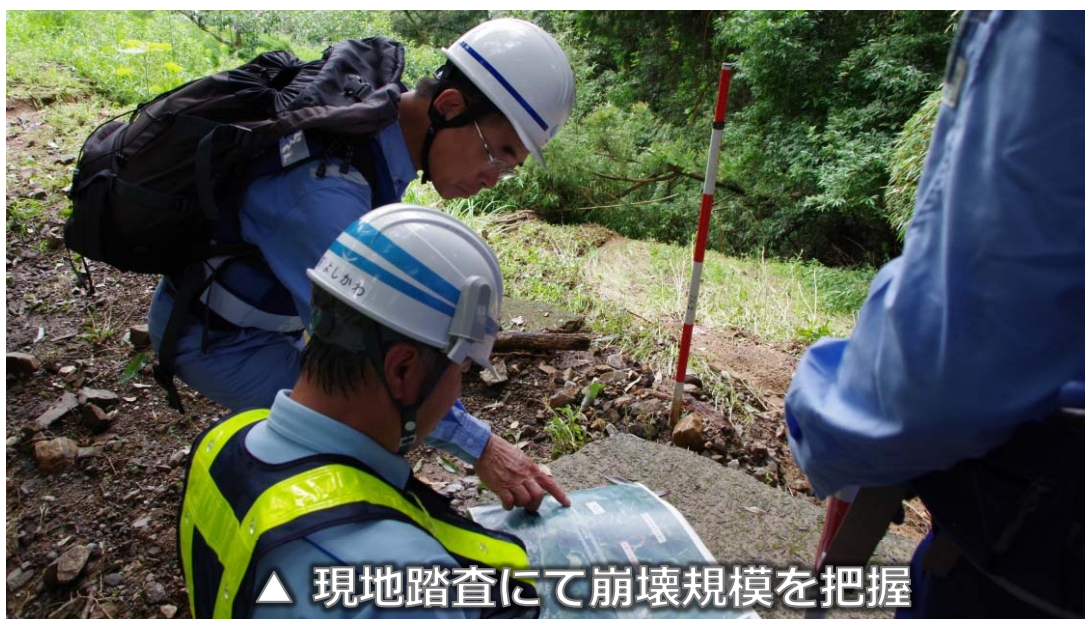
○ H29.7.13（木）国土交通省と福岡県が合同調査チームを結成。TEC-FORCEのドローン部隊を投入し、上空から流木の堆積状況を調査した。



○ H29.7.10（月）NEXCOからの要請を受け、大分自動車道高山トンネル付近の土砂流出箇所において、TEC-FORCEが現地調査を実施し、安全が確認されたことから通行止め規制が解除されました。



△ TEC-FORCEとNEXCOが現地合同調査



△ 現地踏査にて崩壊規模を把握



△ ドローンを活用し、上空から斜面全体を確認



△ 道路に影響が無いことを確認

- H29.7.6（木）日田市で発生した小野川河道閉塞に伴う土砂災害の技術的助言を行うため、TEC-DOCTOR（水野秀明 九州大学院農学研究院 准教授）による現地調査を実施。調査結果と今後の対応を日田市長と大分県に説明。



▲ 河道閉塞状況の確認



▲ 斜面崩壊状況の確認



▲ 大分県への助言



▲ 日田市長への報告

- H29.7.8（土）斜面が崩壊した日田市小野地区で、土木研究所の土砂災害専門家とTEC-FORCEが合同で現地調査を行い、日田市長へ報告。



4. 道路啓開

～孤立地域への支援ルート確保～

通行確保のため啓開作業を開始

○ H29.7.6（木）福岡県からの要請を受け、東峰村へ繋がる国道211号の通行を確保するため、TEC-FORCEが被災箇所の復旧作業を進めました。



▲ 被災状況を事前に確認し作業方針を検討



▲ 昼夜を問わず啓開作業を継続



▲ 災害対策基本法に基づき車両を撤去



▲ 啓開作業が完了し通行を再開（7/6 19:00）

- H29.7.8（土）東峰村役場付近の国道211号（福岡県管理）の道路崩壊箇所において、TEC-FORCEが工事支援を実施し、7月8日に応急復旧を完了。



国道211号の緊急車両の全線通行を確保

○ H29.7.6（木）～ 国道211号の要啓開区間 2.1 kmにおいて、TEC-FOPRCEが啓開作業を進め、7/14（金）13:00から緊急車両の全線通行を確保しました。（7/23に一般車も含めて通行確保）



5. 河川災害復旧

～二次被害防止に向けた早期の災害復旧～

緊急復旧工事の完了（花月川（国管理））

- H29.7.14（金）被害のあった筑後川水系花月川等の4箇所は、一刻も早い復旧を目指して24時間体制で緊急的な復旧工事を進め、建設業者の協力を得て7月14日までに全ての工事が完了。

【筑後川水系花月川左岸1k800付近】

▲ 堤防の洗掘が発生（7月6日5:40）



▲ 直ちに緊急復旧工事に着手

▲ 24時間体制で緊急復旧



▲ 緊急復旧工事が完了（7月14日18:00）



- H29.7.6（木） TEC-FORCEが福岡県と合同で、朝倉市を流れる桂川の越水箇所と荷原川の堤防決壊箇所の被災状況調査や仮復旧工法を検討。



- H29.7.7（金）福岡県からの要請を受け TEC-FORCEが朝倉市内を流れる奈良ヶ谷川、^{な ら が たに} 白木谷川 ^{しら き たに}、
^{そう ず} 寒水川などの溪流調査に着手。



- H29.7.14（金）決壊した荷原川（福岡県管理）の緊急復旧において、TEC-FORCEが調整し、九州地整の工事箇所から復旧資材を手配することで、早期に緊急復旧を完了。

